「高次脳機能障害及びその関連障害に対する 地域支援ネットワーク構築促進事業」の活用 「高次脳機能障害及びその関連障害に対する地域支援ネットワーク構築促進事業」の実施状況

<茨城県>

①地域支援ネットワーク協議会の設置

支援を適正かつ円滑に推進するため、医療、福祉、就労支援、家族会、教育の有識者で計12名の 委員で構成し、年2回、各分野での高次脳機能障害支援の進捗を共有するとともに、施策充実の 検討を実施。行政機関である茨城県高次脳機能障害支援センターの諮問機関としても機能。

②地域支援ネットワーク構築のための関係機関の把握・開拓及び情報提供

県内5地域に地域支援拠点を整備し、それぞれに配置されている支援コーディネーターが月に一度、病院などの地域の関係機関に高次脳機能障害支援体制に協力してもらえるよう開拓を行う。



高次脳機能障害支援における 茨城県の状況について

茨城県福祉部 障害福祉課 企画担当



茨城県の体制

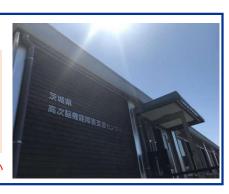
茨城県高次脳機能障害支援センター人員配置 (茨城県福祉部障害福祉課)

常勤計6名・非常勤等計7名

社会福祉士常勤1名医師 非常勤3名(嘱託)心理士常勤1名医師 県立医療大学兼務1名看護師常勤1名OT 県立医療大学兼務3名行政職常勤1名(本庁高次脳担当1名)

相談員 常勤2名(会計年度任用職員)

高次脳機能障害支援に専属で従事できる行政職員が多い



行える業務の幅が広く、様々な取組に柔軟に対応できる。

厚労省事業メニュー

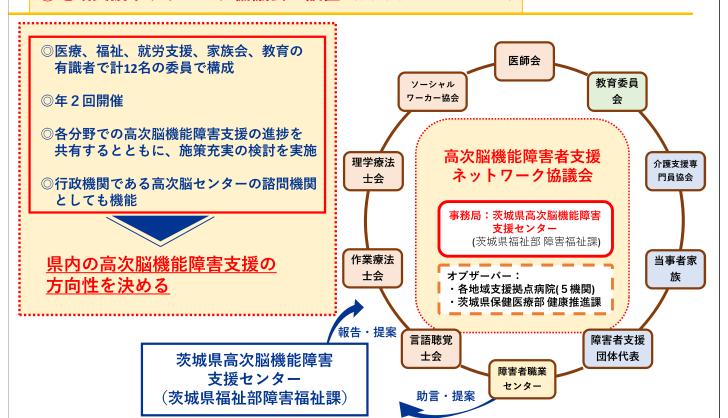
- ①地域支援ネットワーク協議会の設置**←R5から活用**
- ②地域支援ネットワーク構築のための関係機関の把握・開拓及び提供←R5から活用

35

0

茨城県の取り組み

①地域支援ネットワーク協議会の設置(事前協議額:280千円)





0

その他事業メニュー以外の取り組み

①高次脳機能障害支援協力病院の指定

協力病院とは

◎茨城県で指定した高次脳機能障害の診断に協力してくれる医療機関

目的

○高次脳機能障害の診断等を実施し、適切な支援が提供されること。

事業内容

- ◎協力病院の担当者会議を年1回開催し、診断や支援に 難渋したケースなどの情報交換を行っている。
- ◎センター主催の研修会や連絡会に参加してもらい、高 次脳機能障害支援への知見を深めてもらっている。

これまでの活動

◎センター職員(看護師)が県内の医療機関に訪問し、 事業内容や目的を説明し、理解が得られた医療機関が 指定に至っている。

3 5 医療機関 (R6.12月現在)

課題

◎指定医療機関数の地域間格差が大きい。

0

その他事業メニュー以外の取り組み

②アウトリーチ型支援の実施

アウトリーチ型支援とは

- ◎センターで行っている相談支援の形態(電話・訪問・来所・メール等)のうち 訪問に該当するもの。
 田談書から了解が得られれば、現地に表す。
- ○R5年度の実績は169件。

│ 相談者から了解が得られれば、現地に赴き、 │ 直接本人や家族に会って相談等支援を行う。

支援の位置付け

◎切れ目のない充実した支援ができるように、ニーズに応じて支援の切れ目に センターが介入するため、スキマを埋める役割を果たす。



課題

◎職員の負担が大きいため、件数が増え続けると実施方法等の見直しの必要がある。

<愛知県>

①地域支援ネットワーク協議会の設置

該当なし

②地域支援ネットワーク構築のための関係機関の把握・開拓及び情報提供

【尾張地域の支援拠点機関:愛知県西部を主な対象】

※各事業(年間計画回数、 R6.4~9月分利用実績人数) ・支援機関との相互連携による講座開催(社会生活力向上事業)

若年者のつどい(4回,26人)、移動グループワーク(1クール,32人)、ICT講座(基礎編・応用編)(各1 回.9人)、失語症ミニ講座&サロン(年3回.160人)

・協力医療機関及び専門機関の確保・明確化(ネットワーク強化事業)

出張相談(医療・福祉関係機関等)(年5回,52人)、失語症出張相談室(年6回,11人)、高次脳機 能障害連続ミニセミナー(年5回,685人)

・社会資源の開拓、情報提供充実化(情報充実化事業)

メール相談窓口(16件)、啓発イベント(2回,29人)、情報コーナー設置、啓発ポスター配布(市町村等) 【三河地域の支援拠点機関:愛知県東部を主な対象】

・協力医療機関及び専門機関の確保・明確化・連携強化

西三河南部東・西圏域の支援体制強化のため、当該地域の行政・医療・相談支援機関・福祉 サービス事業所等へ訪問し支援ネットワーク構築の呼びかけを行う(延37回)とともに、集合研修 会「高次脳機能障害支援ネットワークを考える会」を2圏域で開催(2回 延137人)。

【ピアカウンセラー養成】(家族会)

・社会資源の開拓

ピアカウンセラー養成講座…障害の当事者や御家族等は自身の経験や知識を元に親密に相談対 応ができる一方、相談を受ける際の受け答えの基本や傾聴の仕方等について相談技術の習得が必 要なため、家族相談会関係者向けの講座を開催して支援力を養う(年2回 延24人)

地域支援ネットワーク構築促進事業 (R5~)

■=継続

新規事業

社会生活力向上事業

グループでの活動、交流を 通して、社会生活力および 障害認識を向上させる。

ネットワーク強化事業※資料3

医療機関や福祉関係事業所、自立支援協議会などでの出張相談、 研修依頼に対応する。

情報充実化事業

より多くの一般市民が情報 にアクセスしやすいような 取り組みを行う。

対象

内容

当事者·家族

- □若年者のつどい
- □移動グループワーク
- □ICT講座
- ■働くなかまの集い(協力)
- ■マイ・ノートワーキンググループ

医療機関·福祉関係事業所

- □出張相談(医療、福祉)
- ・協力医療機関ネットワーク連絡会
- □失語症出張相談室
- □高次脳連続ミニセミナー

一般市民

- □メール相談窓口の開設
- □啓発イベントの開催
- ・グッズ、リーフレット等作成
- □情報コーナー設置
- ■支援機関マップ(福祉版) 作成

裏面の内容を見。 申し込んでね!

みんなで楽しいひとときを

ごしませんか?

本イベントは 愛知県内にお住まいで 名古屋リハ 利用中の小中学生及びその保護者の方を対象に開催 されるものです

お問い合わせ先:なごや高次脳機能障害支援センタ・ 電話:054-835-3814

Mail: n-koujinou@nagoya-rehab.or.jp 担当: 長野 佐野 富田

参加者募集中!

8月9日金曜日

おやつ作り体験!

アレルギーのある方は あらかじめご連絡ください。 ご相談に応じます。 当日はエプロンをご用意下さい (ない方はこちらでもご用意 できます)





当日は体育館シューズか上履きをご用意下さい

親子、きょうだいの参加も大歓迎です!

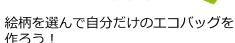


8月14日水曜日

ボッチャ大会!

ボッチャは年齢や経験、障害の有無を問わず、だれでも楽しめるボールを使ったスポーツです。パラリンピックの正式種目にもなっています。





A4サイズのノートが入れられます。



親の集いのご案内

8月9日金曜日 別室にて親同士の情報交換会開催!学校のこと、進学のこと、生活のこと、 話してみませんか?

- ◎各日とも、13時30分(受付13時)~15時30分
- ◎名古屋リハ4階『大研修室』までおこしください
- ◎お申し込みは右記QRコードから (申し込み締め切り 7月31日)
- ◎参加費は無料です!





車の運転、運転免許証についてお悩みではないですか?

運転をする・免許証を更新するために必要な手続きを学び、 車以外の移動手段も知ることを通して、お互いの経験を共有し、 自分に合った移動手段を考えるグループワークを開催します。



運転するために必要な手続きを知りたい、免許の更新について知りたい、 運転してはいけないと言われて困っている、悩みを共有したい…など、

ご興味のある方は、ぜひご参加ください!

	日時		場所	内容
0	6/4 (火)	13時-15時	OT室	高次脳機能障害とは、運転するためには
2	6/11 (火)	13時-15時	OT室	免許更新手続きについて
8	6/18 (火)	13時-15時	OT室	車以外の移動手段
4	6/25 (火)	13時-15時	OT室	車を運転しない生活ってどんな感じ?
9	7/2(火)	13時-15時	OT室 (外出)*	さまざまな移動手段を体験してみよう ※外出の可能性がありますが、詳細は未定です
6	7/9 (火)	13時-15時	OT室	今後の移動手段の計画
0	7/23 (火)	13時-15時	OT室	ライフスタイルの計画、移動手段の選択肢

お申し込みお問い合わせ

なごや高次脳機能障害支援センター OT 吉原 (1階 総合相談部内)

失語症のある人向け LINE 活用講座・情報交換会

LINEでつながろう!

楽しく身近につかってみませんか?

日時

令和6年 9/2 2(日)

13:30 - 15:30



場所

なごや福祉用具プラザ 研修室

※当日はご自身のスマホをお持ちください

こんなお困りごとありませんか?

- ・LINEの使い方がわからない
- ・LINEを活用したい
- ・LINEで交流を楽しみたい
- ・お役立ち機能を知りたい

象校

失語症のある人

定員

10名(先着順)

申込方法

- 1)雷話
- ②FAX(裏面参照)
- ③メール
- 4総合相談室内 諸岡

お申込み・お問い合わせ なごや高次脳機能障害支援センター ST 諸岡

(名古屋市総合リハビリテーションセンター 1階 総合相談室内) E-Mail n-koujinou@nagoya-rehab.or.jp

※講座会場とは 場所が異なります。

(052)835-3814 FAX (052)838-9105

『失語症のある人向け LINEの活用講座・情報交換会』参加申込

申込期間: 令和6年 8月13日(火)~8月30日(金)(先着順)

申込方法: 1. 電話 (052)-835-3814(受付時間:9:00~17:00(土·日·祝日を除く))

2. FAX (052)-838-9105

(下記 申込欄①~⑦に 必要事項を記入、チェックして 送信してください。)

3. メール n-koujinou@nagoya-rehab.or.jp ST諸岡宛 ①~⑦を記載し 送信

4.総合相談室内 諸岡へ

(下記 申込欄①~⑦に 必要事項を記入、チェックして ご提出ください。)

一 お申込欄 一

①お名前(同行者 🛭 有(お名詞)) 前)						
□無	□ 未定						
© /C.14,5	□ 電話	\Box FAX		`			
(連絡先→	マンルロフレ	· — :-)			
③スマホの機種は? 🛘 アンドロイド 🗘 iPhone							
④LINE経験 □ 有 □ 無							
⑤LINEアプリ							
スマホに インスト ー ル	□済	□未	□ わからない				
⑥自宅に Wi-fi	□ 有	□無	□ わからない				
⑦LINEのお困りごと	□ 有	□ 無	□ わからない				
(有→)			
/ ID '				,			

※いただいた情報は、講座の運営にのみ使用します。

◆ 会場のご案内 ◆



なごや福祉用具プラザ 研修室 〒466-0015 名古屋市昭和区御器所通3-12-1 御器所ステーションビル3F

地下鉄 御器所駅 下車 ②番出入口 より100m エレベーターご利用の方は ⑧番出入口 (昭和区役所 前出入り口)が便利です。



失語症 ってご存じですか?

(しつごしょう)

失語症は、脳の言語中枢が損傷されることで起こる言語障害です。

聞くこと

- ・耳は聞こえているのに、言葉の意味が理解できない
- ・聞いた内容を頭の中に 留めておくことが難しい



読むこと

- ・読んで理解することが難しい 漢字より仮名が特に難しい
- ・声に出して読めても意味が 分かっていないことがある

話すこと

- ・言いたい言葉が浮かんでこない
- ・思ったことと違うことを 言ってしまう



書くこと

- ・文字を思い出せない 仮名が特に難しい
- ・書き誤りがある

失語症の原因

脳血管障害

脳梗塞・脳出血・くも膜下出血 など

頭部外傷

交通事故・転落 など

その他

脳腫瘍・脳炎 など



まずは相談してみませんか?

介護・障害福祉サービス 社会保障制度 地域の様々な資源の利用を 有効活用できるよう相談支援を行っています。

対象

失語症のある方・ご家族 支援専門職 その他の支援者

支援の流れ

相談窓口に ご相談ください。

ガイドブック等



/ 1

失語症についての啓発・情報冊子 「ひと工夫して楽しく話しましょう」





ガイドブック等のデータは

QRコードから ダウンロード可能です。

失語症情報冊子

会話支援お願いカード

失語症のある方のための 会話支援お願いカード

また、現物をご希望の方は なごや高次脳機能障害支援センターでも 配布しています。 お気軽にお問合せください。

社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団

なごや高次脳機能障害支援センター

(名古屋市総合リハビリテーションセンター内)

▶ 052-835-3814 (直通)

[所在地] 〒467-8622

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1-2 [HP] https://www.nagoya-rehab.or.jp [メール相談窓口] HPよりメールでの相談も受け付けています。





事業団公式マスコットキャラクター り はみん

当事者、ご家族、関係機関 向け

高次脳機能障害に関する

メール相談窓口

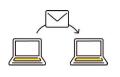
開設のお知らせ

高次脳機能障害って どのような症状?

どう伝えたらいい?

高次脳機能障害のある方の 仕事、車の運転、 学校生活、失語症など







高次脳機能障害に関するメール相談窓口を開設しました。 相談窓口受付時間内に相談しづらい方、電話での相談が難しい方、 安心してお気軽にご相談ください。

高次脳機能障害支援コーディネーター(ソーシャルワーカー、作業療法士、 言語聴覚士、公認心理師)がお答えします。





個人向け

支援機関向け

愛知県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業支援拠点機関

なごや高次脳機能障害支援センター(社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団)

住所:名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話:052-835-3814(直通)

ホームページ: https://www.nagoya-rehab.or.jp/dysfunction/1002448

(こうじのうきのうしょうがい)

高次脳機能障害。

知っていますか?

病気や事故で脳にダメージを受けたあと、

こんな症状(後遺症)があります。

注意障害

同時に複数のことに 注意をはらえなくなった。 うっかりミスが増えた。 集中力が続かなくなった。



記憶障害

すぐに忘れるようになった。 新しいことを覚えることが 苦手になった。



遂行機能障害

段取りが悪くなった。 効率的に計画を立てることが 苦手になった。



社会的行動障害

ささいなことで イライラするようになった。 やる気が出なくなった。



失語症

言葉が出にくくなった。 聞く、話す、読む、書くことが 難しくなった。



この障害により、生活や仕事、学校でトラブルやミスを生じ、社会生活に支障が出ることがあります。

お困りごと、気になることがあるときは、相談してみましょう。

愛知県高次脳機能障害支援拠点機関



なごや高次脳機能障害支援センター (名古屋市総合リハビリテーションセンター内)

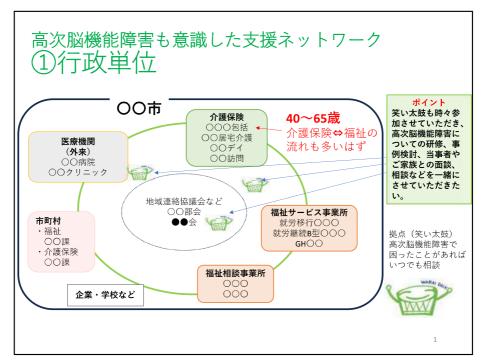
電話:052-835-3814

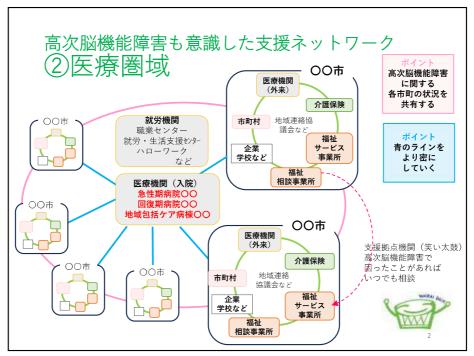




高次脳機能障害愛知県東部支援センタ-笑い太鼓 電 話:0532-34-6098

西三河南部東・西圏域の支援ネットワークの構築





高次脳機能障害 家族相談会

「高次脳機能障害」とは・・・

原因…交通事故や脳血管障害の病気などで脳にダメージを受けることが原因となります 主な症状…事故などの前と比べて新しいことを覚えられなくなった、怒りっぽくなった

高次脳機能障害かもしれないと感じたら、お気軽にご相談ください いっしょに心配事や悩み事の問題解決のヒントを見つけましょう



★下記の会場で開催します(13:30~15:30) ご都合のよい会場へお越しください

名古屋市総合リハビリテーションセンター 1F 相談室 6

5/7(火) 8/6(火) 11/12(火)

名古屋市南区役所 第 2 会議室 4/30(火) 8/22(木) 12/18(水)

大府市役所 会議室 7/9(火) 1/15(水)

NPO 法人高次脳機能障害友の会みずほ 4F 相談室 11/24(日) 3/23(日) 一宮市ききょう会館 1F 会議室 6/24(月) 9/19(木) 1/20(月)

春日井市総合福祉センター 相談室 7/24(水) 10/15(火) 2/14(金)

刈谷市総合文化センター ※ 4/18(木) 9/11(水) 2/18(火)

半田市 中央公民館 和室または会議室 5/14(火) 10/3(木)

岡崎市 友愛の家 活動室 6/12(水) 12/3(火) 3/5(水)

- ※刈谷会場については変更する場合がありますので、電話にてご確認ください
- ※みずほ事務所では 月・木曜日にも相談を受け付けていますが、それ以外でご希望の方は 一度お電話ください TEL 070-2233-6422
 - ◆ 相談無料 事前にお申し込みいただけましたら幸いです。
 - ◆ 詳細については事務局へお問い合わせください。 尚、変更などについては「NPO法人高次脳機能障害友の会みずほ」 ホームページでお知らせいたします。



【事務局】 「愛知高次脳機能障害協議会」 (NPO 法人 高次脳機能障害友の会みずほ 内) 名古屋市中区平和 2-3-10 仙田ビル